

# 映画「坂道のアポロン」のロケ地

## AREA1 長崎県佐世保市

原作と映画の舞台。学生生活を中心に撮影しました。

## AREA2 長崎県長崎市

大学やライブハウスで演奏シーンなどを撮影しました。

## AREA3 大分県豊後高田市

昭和の懐かしい街並みで、彼らの住む町を撮影しました。

# 映画「坂道のアポロン」のロケ地を巡ろう

KIDS ON THE SLOPE



# TRACK-01 BUNGO TAKADA CITY 豊後高田市

## BUNGOTAKADA CITY SHOWANOMACHI 昭和の町

昭和30年代の商店街の街並みをそのままに、古き良き昭和の面影が残る「昭和の町」。週末には実際に撮影で使用したボンネットバスが商店街を走り、懐かしさの中にもどこか新鮮さがある全国的に脚光を浴びている場所です。



**2 千太郎の家 (路地の一軒家 / 是永町)**  
千太郎が母・姉妹たちと暮らす家として登場。ここで薫とスイカを食べながら恋の作戦会議をする場面も。



**1 ムカエレコード地下室 (旧金谷製線工場)**  
工場内にセットを建込み、薫が千太郎、淳一、勉とジャズセッションをするシーンを撮影。律子や百合香を含めた切ない恋模様も描かれた場所です。

→→昭和の町までのルート



**access** 豊後高田市[昭和の町]へのアクセス

[大分交通 エアライナー]  
大分空港→豊後高田(昭和の町) (約50分)  
詳しくは豊後高田市観光まちづくり株式会社まで  
☎ 0978-23-1860

ホームページでも確認できます▶  
[www.showanomachi.com/access/](http://www.showanomachi.com/access/)



KIDS ON THE SLOPE



**3 バイクで駆け抜ける商店街 (駅通り商店街)**  
千太郎の運転するバイクに乗った律子が、薫への想いを打ち明けようとするシーンに使われた商店街です。



**4 淳一が暮らすアパート (次郎丸アパート)**  
大学を辞めて故郷に戻ってきた淳一。薫への想いを寄せる百合香との、今後の行く末を決める重要なシーンで登場します。



**5 千太郎と律子がバイクで通った商店街 (新町2丁目商店街)**  
クリスマス当日、千太郎が後ろに律子を乗せバイクで走った商店街として撮影。物語を大きく左右する重要な場面です。



**6 千太郎の家 (路地の一軒家 / 新町)**  
千太郎の家の玄関として撮影。薫と千太郎が激しく言い合いするシーンを撮影しました。



**7 ムカエレコード (野村電機商会)**  
律子の実家であり物語のシンボリックな場所として登場。薫と律子の切ない糸電話のシーンもここで撮影しました。



**8 ムカエレコードがある商店街 (新町1丁目商店街)**  
ムカエレコードがある商店街として随所に登場。撮影中は、異国情緒漂う雰囲気を出しました。



**9 赤い公衆電話があった商店街 (銀座街商店街)**  
薫が律子に電話するシーンで登場。普段は道路にトラックアートを描かれていて、歩くだけでも楽しい商店街。



**10 薫が律子に電話した店 (かどヤストア)**  
店の前に設置した赤い公衆電話から、薫が律子に電話をかけて、図書館に誘うシーンを撮影しました。



**11 淳一のアパートまでの道 (中央公民館横 石階段)**  
アパートから出て来た淳一と百合香に、千太郎が鉢合わせるシーンを撮影しました。



**12 薫が駆けつけた病院 (安部内科)**  
物語の後半で、薫が息を切らして駆けつけた病院。廊下と病室で撮影しました。



**13 キスした神社 (天神社 境内)**  
激しい雨を降らせ、雨宿りする薫と律子のキスシーンを撮影した神社。千太郎の幼少期の回想シーンでも登場。



**14 クリスマスに賑わう通り (金谷製線倉庫)**  
敷地内を装飾し賑やかな様子を演出。パーティを待ちきれず、千太郎が律子とバイクで薫を迎えに行く場面で登場。

**AR** ※このマークのあるロケ地では、ARアプリを使って映画「坂道のアポロン」のワンシーンの記念撮影ができます。